

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

128	提案機関名	神奈川県内水面養殖業者協議会		
要望問題名 アユのボケ病の早期診断技術の開発				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現在、アユの養殖場では不活発な遊泳や食欲の低下および突然の大量死を示し、「ボケ」と呼ばれる病気が発生しています。この病気は細菌性鰓病と類似の特徴を示すため、養殖場での判断が難しく、その対応に苦慮しています。今後、ボケ病が発生した場合、突然の大量死による被害の拡大が懸念されます。ボケ病の早期診断により、養殖場でボケ病の発生の初期段階で対策が可能となり、被害の軽減が図れるものと思われます。 そのため、アユのボケ病の早期診断技術の開発を要望します。				
解決希望年限	1年以内	2～3年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内	5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター	畜産技術センター	<input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター	自然環境保全センター
備考				

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場	
対応区分	実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	継続検討	実施済
試験研究課題名 (、、の場合)水産動物保健対策事業				
対応の内容等 本県は、全国湖沼河川養殖研究会の下部組織として、11県で構成されるアユの疾病研究部会に参加しております。同部会では大学と連携してボケ病研究を進めており、異型細胞の検出やPCR法による原因ウイルスの検出などボケ病の迅速診断手法を開発しました。現在、この迅速診断手法を取り入れて、実際のアユの魚病診断に取り組んでいます。				
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> 1年以内	2～3年以内	4～5年以内	5～10年以内
備考				